

瑞浪市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

【文化・社会教育系施設】

③社会教育系その他施設（地域交流センター）

（第1期第5版）

令和6年3月

瑞浪市建設部都市計画課

目 次

1. 計画の策定について	1
（1）計画策定の趣旨	1
（2）計画の位置づけ	1
（3）対象施設	1
（4）計画期間	1
2. 現状と課題について	1
（1）個別施設の状態等	1
（2）利用者数の推移	2
3. 計画策定方針について	2
（1）基本方針	2
（2）対策の優先順位の考え方	2
4. 具体的な取組内容について	3
（1）対策内容と実施時期	3
（2）対策費用と今後の方向性・スケジュール	4

改訂履歴

初版	平成30年2月
第2版	令和3年3月
第3版	令和4年3月
第4版	令和5年5月
第5版	令和6年3月

1. 計画の策定について

(1) 計画策定の趣旨

平成19年（2007年）7月に供用開始した瑞浪市地域交流センター「ときわ」（以下、地域交流センター）は地域の活性化イベントの拠点、周辺地域との交流拠点として建設されました。市民サービスの向上と、安心して利用できる施設環境を維持していくために、管理方針を定めます。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として位置づけています。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、平成26年度（2014年度）に整備した固定資産台帳による以下の施設です。

対象とする施設

中分類	小分類	施設数	施設名称
文化・社会教育系施設	社会教育系 その他施設	1	地域交流センター「ときわ」

(4) 計画期間

本計画の期間は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画という位置づけから、平成29年度（2017年度）から令和8年度（2026年度）までの10年間の第1期とし、ローリングします。

なお、5年ごとに見直すことを基本としている瑞浪市公共施設等総合管理計画と整合を図っていきます。

2. 現状と課題について

(1) 個別施設の状態等

当センターは平成21年（2009年）4月から指定管理者である特定非営利活動法人みずなみ常盤座により施設は運営されており、細かな修繕については指定管理者により行われ、エレベーター保守点検等については市で実施しています。令和4年度に改修工事実施設計を行い、令和7年度以降での改修工事の実施を予定しています。

この計画で対象となる施設の状態等は以下のとおりです。

施設名	建築年度	延床面積	構造	老朽化率
地域交流センター「ときわ」	H19（2007）年度	1178.00 m ²	鉄筋 コンクリート造	26.4%

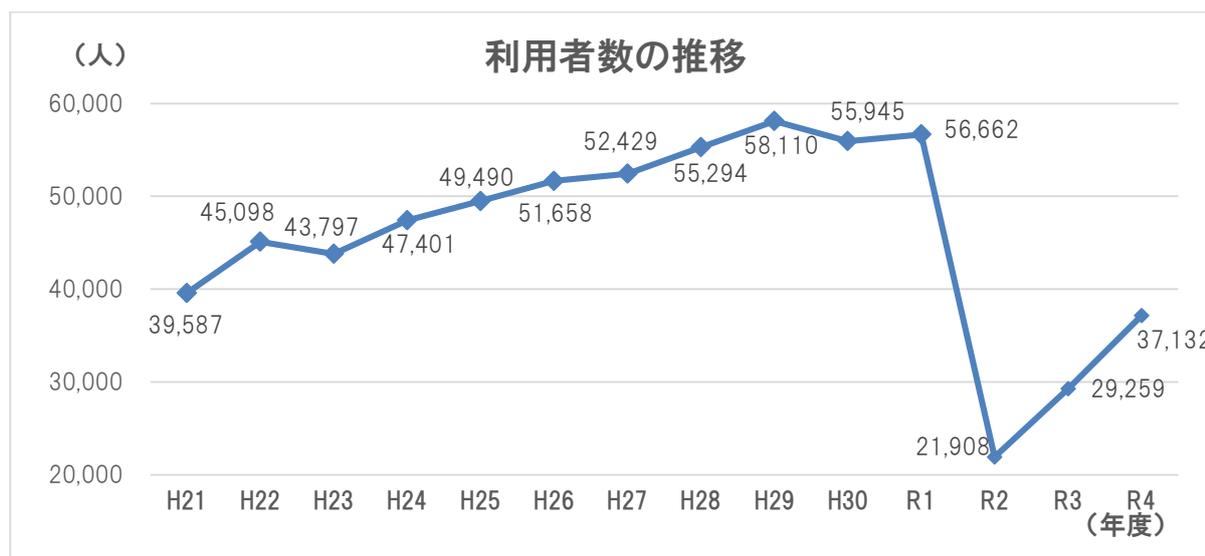
※令和元年度（2019年度）固定資産台帳によるデータ

これまで実施した施設更新内容

平成30年度及び令和2年度に空調設備を一部修繕。令和3年度に誘導灯取替工事。令和4年度に調理室内空調機を修繕。令和5年度に非常灯取替工事、電話通信機器等更新工事。

（2）利用者数の推移

利用者数は供用開始の次年度である平成20年度（2008年度）は30,444人で、以降増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度（2020年度）は21,908人と大幅な減少となりました。令和4年度（2022年度）は37,132人となり、利用者数は回復傾向にあります。



3. 計画策定方針について

（1）基本方針

引き続き市民が安心して利用することができ、将来も地域の活性化イベントの拠点、周辺地域との交流拠点として、継続していきます。

（2）対策の優先順位の考え方

地域交流センターの整備を進めるにあたり、利用者の安全の確保やニーズへの対応など地域交流センターにおける現状と課題について、次の視点から総合的に検討し、取り組みを進めていきます。

○利用者の安全の確保

・施設に著しい老朽化が見られる、災害に関するリスクが高い要因があるなど、施設や立地に起因する課題を抱え、利用者の安全を確保する上で、課題のある箇所については、その解消を図るため優先的に取り組みます。

○財源の確保

・国及び県等の補助事業や起債など財源が活用できる施設整備については、活用できる期間等を考慮し、優先的に取り組みます。

○費用対効果

・施設整備に伴う費用と、整備により得られる歳出削減額の効果を検証し、より高い費用対効果が見込まれる施設整備については、優先的に取り組みます。

4. 具体的な取組内容について

(1) 対策内容と実施時期

老朽化をはじめ、施設に課題を抱えている箇所は改修を行うこととします。当施設は築16年で比較的良好な状態を保っています。引き続き予防・保全を行い、施設の長寿命化を図り、集約化、複合化など適正規模を検討します。

第二付属駐車場内にある公衆トイレは駐車場用地買収の際に引き継いだもので、利用状況は近隣の同様施設と比べ少なく、地域交流センター内のトイレを使用できることから、耐用年数経過後は廃止を検討します。

(2) 対策費用と今後の方向性・スケジュール

施設名	建築年度	耐用年数	使用目標年数	今後の方向性	実施年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
地域交流センター 「ときわ」	H19	47		集約化、 複合化	対策内容		設備修繕		空調改修	改修基本設計	改修実施設計			改修工事	
					対策費用		7		7.6	4.8	4.0			120	

- ・施設の法定耐用年数を超えて延伸させることを目的とした長寿命化改修を行う場合は、施設の使用目標年数とその必要性を記載すること。
- ・対策費用の単位は、百万円とすること。(対策費用は概算であり、変更する場合がある)